



「共助」で防災意識高める

1年生 120名防災スクール実施

10/17(木)1年生120名をはじめ、教職員、育友会、佐野区住民、地元老人クラブ、新宮市防災対策課職員など多くの方々に参加していただき、「防災スクール」が開催された。地域住民と連携し災害の発生時には迅速に対応できるよう、生徒の防災意識の向上、防災リーダーの育成を目標に毎年10月に開催している。生徒は4つの班に分かれ、8つの内容を地域のみなさんと協力し『共助』の取組を学んだ。



①パ・ナ・ショウ
避難所居住
スペースの
仕切り作成



②応急手当
三角巾や
ポリ袋を
使用



③心肺蘇生法
人体模型を
使って訓練



④搬送訓練
道具なしや
竹の棒と毛布
を使った訓練



⑤ロープワーク
救出・救助のアイテム



⑥ワークショップ
佐野区住民と非常持出
袋の中身の話し合い



⑦炊き出し訓練
アルファ米調理と
パック詰め



⑧社会福祉活動&
聞き取り調査
佐野会館で実施

「新宮ユネスコ文化講演会」参加



9/22(日)新宮市役所別館で新宮ユネスコ協会文化講演会が開催された。「わたしが生きる道ー教育・音楽・共生社会ー」をテーマに、菅田利佳さんが講演された。

菅田さんは、和歌山市出身で全盲というハンディキャップを乗り越え東京大学に進学、講演では「世界中の誰もが十分に学べる社会をつくること」という夢を語られ、ピアノ演奏もしていただき会場は 250 名の参加者の大きな拍手で包まれた。

本校からは、生徒6名(3-1 竹内さん,3-1 大畑さん,3-1 須川さん,3-3 濱口さん,3-2 野村さん,3-1 山本さん)と教員6名が参加した。

「マナビスト企画ゼミ」参加 串本古座高校で



主体的にまちづくりを学び行動する人材を育てる「第1回マナビスト支援セミナー・企画ゼミ」が 10/5(土)串本古座高校で始まった。

「マナビスト」は和歌山大学の教授から助言を受け、受講生が仲間とともに主体的に調査・研究を進める「学びの場」で今年度から会場が学びの丘から串本古座高校に変更になった。

この日は一般社会人15名、高校生6名の計21名が参加し、本校からは3年生3名(3-2 湊谷さん、3-3 濱口さん、3-3 和田君)が参加した。「地域をつくる学び」について講義を受けた後、受講生同士で地域で大切にしていることや、地域に求めているものを語り合った。

ゼミでは3つのグループごとのテーマ(①人②場、空間③ことがら)で調査・研究を進め、最終2月の成果発表会で、意見交換を行う予定である。

「交通安全優良学校表彰」受賞



自転車マナーアップ推進活動が評価され、9/30(月)に、令和元年度交通安全優良学校表彰(主催：和歌山県交通安全協会新宮支部)を受けた。

本校は、新宮警察署から自転車マナーアップ推進リーダーの委嘱を受け、吹奏楽部、ハンドボール部の部員らが自転車の交通マナーの向上や「自転車安全運転五則」の周知などを主導し、事故防止を図っている。

今回の表彰は、日頃の地道な活動が認められての名誉ある賞で、生徒たちの励みにもなる。今後は、推進リーダーでなくとも、学校全体でマナーアップの意識と取組をすすめてもらいたい。

3年生「介護実習」順調です

3年生「介護福祉基礎」「介護総合演習」選択生15名は、新宮市社会福祉協議会の全面協力の下「介護職員初任者研修修了資格」の取得を目指し4月から熱心に取り組んでいる。

夏休みから介護技術の実習が始まり、着衣交換や調理実習、入浴や食事介護、被介護者が寝たままでのシート交換など介護技術を1つ1つ学び、練習を重ねている。

